

平成 20 年度評価委員会（第 2 回）議事要旨

1. 日 時 平成 21 年 3 月 12 日（木）10：30～12：00
2. 場 所 日本学生支援機構市谷事務所 4 階 役員会議室
3. 出席者 （委員）平野真一（委員長）、蟻川芳子、石川正興、白井淳一、松本香、渡辺三枝子の各委員
（機構）梶山理事長、矢野理事長代理、尾山理事、簗島理事、大貫理事、佐藤監事、栗原政策企画部長、山内総務部長、香川財務部長、増子総合計画課長
4. 議 題 （1）平成 20 年度業務実績に係る評価の観点（評価指標）について
（2）その他

5. 議 事

議事に先立ち、平野委員長から委員の出席状況につき報告があった。
続いて、梶山理事長からあいさつがあった。

（1）平成 20 年度業務実績に係る評価の観点（評価指標）について

政策企画部長より、「平成 20 年度業務実績に関する項目別評価フォーマット（案）」に沿って、評価指標についての説明がなされた後、以下のような質疑応答、意見があった。

（：委員、：事務局）

機関保証について、「保証機関の健全性の確保」とあるが、機構がそこまで責任を負うのか。通常取引ではお互いが採算を取れるようにする。相手の経営状況まで見る必要があるのか。

行政改革推進本部決定の書き方にに基づき平成 20 年度計画をこのように記載した。保証機関の財政状況についてはご指摘のとおりと思うが、これは機関保証制度が破綻しないようにするためのものである。収支のバランスが取れているかどうか、将来的に保証料の見直しが必要かどうかということも併せて検討している。

平野委員長より、「平成 20 年度業務実績に関する項目別評価フォーマット（案）」について、この内容で了承してよいかという提案があり、了承された。

（2）その他

総合計画課長より、「評価関係スケジュール（予定）」に基づき、今後のスケジュールについて説明がなされた。

次に、財務部長より、「独立行政法人日本学生支援機構の平成 21 年度予算案（概要）等について」に沿って、平成 21 年度予算案についての説明がなされた。

続いて、政策企画部長より、「次期中期目標・中期計画（案）」に沿って、次期中期目標案及び次期中期計画案についての説明がなされた後、以下のような質疑応答、意見があった。

奨学金は、銀行等からでも借りることができるが、機構から借りるメリットは何か。一つは無利子あるいは低利子であること、もう一つは返還時に無職や失業中など返還が困難な場合、返還期間の猶予ができることである。

また、機構の奨学金は、親ではなく本人が借りて、本人が返すものである。

個人情報情報機関への個人情報の登録は行わなければならないと思うが、返還期間の猶予と2本立てでやらなければならない。デリケートな問題である。

ご指摘の通り、猶予制度はあまり知られていない。猶予制度をもっとPRしなければならない。

猶予が適用されれば延滞者とはならないので、PRしなければならない。

最近、催促されなければ支払わなくていいかのように、日本人の感覚が変化してきているのではないかと懸念する。払えるのに払わない人に対しては、厳しく請求行為を行わなければならない。

職員数を1割減らすことが書かれているが、現在の不況を受けて、考えておかなければならないことは何か。職員を削減するよう言われる一方、他方で回収率を向上させるよう言われている。

不況を受けて、奨学金に関しては今後ますますニーズが高まることが予想される。職員数だけでなく、予算の削減も定められているが、奨学金に関する事務経費については業務経費からはずれている。

一般管理費を16%減らすことは大変なことである。奨学金事業そのものは規模が大きく膨らんでいくのに一般管理費を16%削減することは少し現実的ではない。

学資金の貸与に係る業務費については削減の対象外である。

学校でも人員が減っているが、システムをどのように構築するかが重要である。問題は回収をどうするかである。これ以上更に削減をかけるのは、現場をよく知らない議論なのではないか。

インターネット上でのネットバンクを活用しての返還ができると、返還業務が楽になるのではないかと懸念する。

このようなシステムを構築する必要がある。よいシステムを作って、それを大学に活用してもらいたい。

「業務・システムの最適化」はこのような指摘を踏まえたものであり、使い勝手のよいシステムを作ろうとするものである。機構の中で業務・システムの最適化に係る委員会を構築して万全を期したいと考えている。

カード会社では住所変更を全部電話で行っていると聞いている。また、引落としができれば翌日にも架電し、返還者の管理を行う必要がある。このようなことを考えながら早め早めの情報収集を行うことが必要ではないかと懸念する。

以上